

令和3年度  
愛南町立長月小学校  
年度末学校評価書



令和4年2月

## 目 次

- 1 年度末自己評価書
- 2 児童用アンケート結果
- 3 保護者用アンケート結果
- 4 地域住民用アンケート結果
- 5 教職員自己評価結果

# 令和3年度末 自己評価書

令和4年 1月 愛南町立長月小学校

【評価基準】 A:目標を達成 B:8割以上達成 C:6割以上達成 D:6割未満の達成

4:あてはまる 2:どちらかといえばあてはまらない  
3:おおむねあてはまる 1:あてはまらない

項目	評価指標及び目標値(期待される姿) ※肯定割合80%以上	評定	学校による ◇考察 ◆改善策	評価資料	評価資料1(アンケート)							
					4	3	2	1	計	肯定	肯定割合	
1 安全・安心で充実した教育活動を実践するために、何が必要かを考え続ける。	1 特色ある学校作り 家庭・地域との連携を密にし、児童や地域の実態及び教職員の創意を生かした「次世代を生き抜く力」を育む教育に努めているか。 (目標値)アンケート90%	A	◇全体的には良い評価をいただいたが、「学校は新たなことに挑戦し、新しい学校作りに努めている」という項目に2の評価が多かった。コロナ禍で様々な行事が制限されたり中止となった影響が考えられる。 ◆今後もコロナ禍での制限は考えられるためWithコロナでできることを工夫していく。今年度は新たな取組としてはPCの1人1台端末の活用が始まった。そのような情報も積極的に発信し、保護者や地域の方の理解が得られるようにしていく。	保護者アンケート⑧	11	6	0	0	17	17	100%	96%
				保護者アンケート⑬	8	9	0	0	17	17	100%	
				保護者アンケート⑮	10	4	3	0	17	14	82%	
				地域アンケート⑤	10	4	1	0	15	14	93%	
				地域アンケート⑥	9	5	0	0	14	14	100%	
				教職員アンケート①	6	2	0	0	8	8	100%	
	教職員アンケート②	4	4	0	0	8	8	100%				
	2 現職教育 教職員は、人間的な力量を高めるために、資質・能力の充実・発展を目指し、研究及び修養をしているか。 (目標値)アンケート90%	A	◇肯定割合が100%と、大変高くなっている。グランドデザインを職員室や各教室に掲示し、常に意識しながら教育活動を行うことができた。また長期休業中には各自が教育書を読んだり、自主的にリモートで研修会に参加したり自己研鑽に努めた。 ◆今後も、授業力や生徒指導力がさらに向上できるような充実した研修会を目指していく。	教職員アンケート③	5	3	0	0	8	8	100%	100%
				教職員アンケート④	6	3	0	0	9	9	100%	
教職員アンケート⑤				6	3	0	0	9	9	100%		
教職員アンケート⑥				4	5	0	0	9	9	100%		
9 家庭・地域との連携 PTA、学校運営協議会、地区公民館等との連携を図りつつ、地域社会との関わりを大切にして郷土を愛する心や感謝する心の育成に努めたか。 (目標値)アンケート90%	A	◇全体的に良い評価をいただいているが、保護者からは「私は学校やPTAの様々な取り組みに協力している。」地域からは「学校には気軽に声を掛けたり立ち寄りやすい雰囲気がある。」という項目に2の評価が多かった。コロナ禍で諸行事が減り、子どもたちと直接会う機会が減り寂しく感じるという意見もあった。 ◆コロナの状況が落ち着いた際には、保護者や地域の方に多く来ていただけるよう呼びかけるようにする。また、今後も職員一同地域の方が立ち寄りやすい雰囲気づくりに努めるようにする。	保護者アンケート⑭	7	8	2	0	17	15	88%	94%	
			保護者アンケート⑯	10	7	0	0	17	17	100%		
			地域アンケート①	9	5	1	0	15	14	93%		
			地域アンケート⑦	8	5	2	0	15	13	87%		
			教職員アンケート⑳	3	5	0	0	8	8	100%		
教職員アンケート㉕	3	5	0	0	8	8	100%					
学校運営協議会での話し合い			<p>○先生方の目が児童全員に良く行き届いている。小規模校の良さである。</p> <p>○各先生方が頑張っており、良いと思う。</p> <p>○新型コロナウイルスの影響により行事等の制限があり、苦悩の1年だったと思う。この経験をもとに、さらに知恵を出し合い、学校・地域が協力しより良い方向に進んでいくことを願う。</p> <p>○特色のある学校作りとして、小規模校の特色を生かし、個々の児童に合わせたきめ細かい一体となった教育が実践されている。</p> <p>○大規模校に比べ競争意識が薄れるのではないかと心配される。</p>									

項目	評価指標及び目標値(期待される姿) ※肯定割合80%以上	評定	学校による ◇考察 ◆改善策	評価資料	評価資料1(アンケート)							
					4	3	2	1	計	肯定	肯定割合	
1 安全・安心で充実した教育活動を実践するために、何が必要かを考え続ける。	5 生徒指導 各々の居場所や認められる場があり、認め合い、支え合う仲間づくりにより、いじめ・不登校・非行等を防止しているか。 (目標値)アンケート90%	A	◇全体的な肯定割合は99%と目標を達成している。児童・保護者・教職員ともに、ほとんどの項目で100%の達成率である。各学担による学級経営や縦割り班活動、各種集会、全校遊びなどが、認め合い支え合う仲間づくりにつながっていると考えられる。また、全教職員が少しの変化を見逃さず児童に対応していることで、児童が安心して過ごすことにつながり、いじめ・不登校・非行などの未然防止となっていると考えられる。 ◆今後も、縦割り班活動や各集会、全校遊びなど、児童が主体的になって関わり楽しむことができる活動を継続させる。月1回実施の「なかよしアンケート(生活アンケート)」及び「お話タイム(教育相談)」を継続することで、児童の心の変化を見逃さず対応するとともに、児童相互に認め合ったり支え合ったりできる仲間づくりにつなげていく。	児童アンケート①	15	3	0	0	18	18	100%	99%
				児童アンケート②	8	9	1	0	18	17	94%	
				児童アンケート⑬	17	1	0	0	18	18	100%	
				保護者アンケート①	13	4	0	0	17	17	100%	
				保護者アンケート③	10	7	0	0	17	17	100%	
				教職員アンケート⑯	2	6	0	0	8	8	100%	
				教職員アンケート⑰	5	3	0	0	8	8	100%	
	5 生徒指導 家庭や地域社会、関係諸機関との連携を密にし、児童の健全育成を推進しているか。 (目標値)アンケート90%	B	◇全体的な肯定割合は89%と目標値に到達しなかった。地域は100%と目標値を達成しているが、児童は89%と目標値をわずかに下回り、保護者は71%とかなり下回っている。ゲームや携帯電話、インターネットなどの使用時間が長くなっていることや家庭でのネットルールが守れていないことが考えられる。 ◆月1回実施のお話タイム(教育相談)やなかよしアンケートなどで、ネット使用時間や家庭でのルールについて確認を行う。その結果をもとに個別に話をしたり家庭との連絡を取ったりして、よりよい使用に結び付けたい。	児童アンケート⑭	13	3	2	0	18	16	89%	89%
				保護者アンケート⑫	3	9	5	0	17	12	71%	
				地域アンケート②	9	6	0	0	15	15	100%	
				地域アンケート④	10	5	0	0	15	15	100%	
	8 健康安全教育 健康的な生活を送ることができているか。自分の命は自分で守ることができているか。 (目標値)アンケート90%	A	◇学校での様々な避難訓練を通して「自分の命は自分で守る」という意識が高い児童が多い。「早寝・早起き・朝ごはんができてい」の項目で2と答えた児童、保護者が2名いた。ゲームやネット閲覧などで就寝時間が守られず、朝起きられない、といった悪循環が考えられる。 ◆普段から、就寝・起床時間を守ることの大切さを伝え、家庭との連携と児童本人への意識付けを行っていききたい。特に、学校休業日や長期休業前には丁寧に指導したい。	児童アンケート⑩	11	5	2	0	18	16	89%	93%
児童アンケート⑪				14	4	0	0	18	18	100%		
保護者アンケート⑩				8	7	2	0	17	15	88%		
保護者アンケート⑪				6	9	2	0	17	15	88%		
教職員アンケート⑳				8	0	0	0	8	8	100%		
教職員アンケート㉓				6	2	0	0	8	8	100%		
学校運営協議会での話し合い		<p>○「学校が楽しい。」という児童がとても多い。学校の環境が良いということだと思う。</p> <p>○早寝早起きが出来ていないのは、ゲーム、ネットの時間が守られていないからでしょうか。「家庭のしつけ」も大切だと思う。</p> <p>○健康安全教育については、学校・家庭・地域それぞれで、子どもたちへの目配りができている。</p> <p>○家庭でのルールを守るよう、時には保護者も厳しく接したらよいと思う。</p> <p>○学校での宿題が長月塾で終わり、家庭ではゲームやYouTubeでテレビさえ見ないと聞く。保護者も交えた研修等も必要だと思う。</p>										



項目	評価指標及び目標値(期待される姿) ※肯定割合80%以上	評定	学校による ◇考察 ◆改善策	評価資料	評価資料1(アンケート)							
					4	3	2	1	計	肯定	肯定割合	
2 自己成長を楽しみながら、ICTをはじめ、新たなことに挑戦し、授業改善を続ける意欲を持つ。	3 教科指導 ICTの活用を前提とし、改善を意識した授業で、基礎・基本の定着を図っているか。 (目標値)アンケート90%	A	◇1人1台タブレット端末を活用した授業を進めることができ、教員も児童もタブレットの活用に慣れてきたと考えられる。ICTを活用しながら、基礎・基本が定着する方法を検討していく必要がある。 ◆今後も定期的に、教員間で活用方法を情報共有する機会を持ち、効果的な活用方法を研究していく。そして、全教職員のICT活用スキルを高めていく。	児童アンケート⑬	15	3	0	0	18	18	100%	100%
				教職員アンケート⑧	6	1	0	0	7	7	100%	
4 道徳教育 豊かな体験や道徳科での学びを通して、児童の道徳性が高まっているか。 (目標値)アンケート90%	A	◇全体的な肯定割合は97%と目標を達成している。地域・教職員についてはすべての項目で肯定割合が100%となっている。児童の「自分の気持ちをよく考えている」「目標を決め、あきらめずに粘り強く努力する」の項目、保護者の「正しいと思うことをしようとしている」「がんばろうと思うことを決め、努力している」の項目については、各94%の達成率である。これら4項目について目標値には達しているが、気持ちをよく考えて正しく行動することや粘り強く努力することなどについて改善したいとの思いがあると考察する。 ◆道徳科の授業による児童の道徳性の成長の様子を見取り、一人一人のよさや成長を個々に伝えて、自分に自信を持たせる。各教科での学習や総合的な学習の時間、その他の教育活動においても、道徳的行為を認めて称賛したり、全体に紹介したりして、よりよい行動を全体に広げていく。 保護者に対しては、参観日で児童の頑張りや努力の様子を見てもらうとともに、懇談会でそれぞれの児童の学校での頑張りや具体的な場面での様子を交えて伝えていく。 地域の方々に対しては、これまで同様、学校だよりやHPなどを通して、学校での児童の様子を発信していく。	児童アンケート③	10	7	1	0	18	17	94%	97%	
			児童アンケート④	12	6	0	0	18	18	100%		
			児童アンケート⑤	11	7	0	0	18	18	100%		
			児童アンケート⑥	11	6	1	0	18	17	94%		
			保護者アンケート④	7	10	0	0	17	17	100%		
			保護者アンケート⑥	7	9	1	0	17	16	94%		
			保護者アンケート⑦	9	7	1	0	17	16	94%		
			地域アンケート③	7	8	0	0	15	15	100%		
			教職員アンケート⑬	1	3	0	0	4	4	100%		
			教職員アンケート⑭	1	3	0	0	4	4	100%		
教職員アンケート⑮	3	4	0	0	7	7	100%					
学校運営協議会での話し合い	<p>○自分たちの時代はなかったので、今の児童はICTの活用ができて良いと思う。</p> <p>○ICT導入により先生方の教育分野が広がり、大変だと思う。研修等を多く取り入れ、自己研鑽に努めていただきたい。</p> <p>○新しい教科指導としてICTを取り入れた教育がなされ、子どもたちも馴染んできている。</p> <p>○道徳教育についても実践的な教育が行われており、児童それぞれが成長している。</p> <p>○ICT活用について、これから基礎から応用へと段階的に取り組んでほしい。</p>											

項目	評価指標及び目標値(期待される姿) ※肯定割合80%以上	評定	学校による ◇考察 ◆改善策	評価資料	評価資料1(アンケート)							
					4	3	2	1	計	肯定	肯定割合	
3 基礎的・基本的事項の確実な定着を図りながら、自ら考え、課題を捉え、解決する力の向上を図る。	3 教科指導 主体的、対話的で深い学びを目指し、自ら学び自ら考える力の育成に努め、学習指導の充実を図っているか。 (目標値)アンケート90%	A	◇児童は授業がよく分かると実感している。教職員が主体的・対話的で深い学びを目指して授業づくりに努めていることが、児童に伝わり、自ら学び自ら考える力の育成につながっていると考える。また、ICTを積極的に活用したり、少人数の中で児童の実態をしっかりと把握して個別の指導に力を入れたりしたことも、効果があったと思われる。しかし、保護者の中には、家庭学習をする習慣が身に付いていないと感じている方もいる。更なる家庭学習の充実を見直す必要がある。 ◆教師は、児童が更に主体的な学びができるように、児童が自ら課題を考えたり、話し合いたいと思ったりする授業づくりに努める。また、対話的で深い学びができるように、ICTを用いた対話をしたり、対話の後に自己の考えを再構築する時間を設けたりする。家庭学習については、基礎基本を身に付けるための学習だけでなく、授業の課題について家庭でじっくりと考えさせる反転授業にも取り組んでいく。	児童アンケート⑦	13	5	0	0	18	18	100%	96%
				児童アンケート⑫	13	5	0	0	18	18	100%	
				保護者アンケート②	11	5	1	0	17	16	94%	
				保護者アンケート⑨	5	9	3	0	17	14	82%	
				教職員アンケート⑨	2	4	0	0	6	6	100%	
				教職員アンケート⑩	1	4	0	0	5	5	100%	
				教職員アンケート⑪	1	5	0	0	6	6	100%	
	教職員アンケート⑫	2	4	0	0	6	6	100%				
	6 特別支援教育 児童の発達課題や学習上の困難等の実態を把握し、全教職員で教育的支援についての共通理解と指導の充実に努めているか。 (目標値)アンケート90%	A	◇全体の肯定割合は94%と目標値に達している。ただし、「個別の指導計画の作成及び、適切な指導・支援の充実について」の項目で「2」の評価があり、肯定割合が88%となっている。 ◆特別支援コーディネーターが中心となって、学級担任の相談に乗りながら個別の指導計画の作成に関わり、児童の指導・支援に当たっていく。	教職員アンケート⑱	4	3	1	0	8	7	88%	94%
				教職員アンケート⑲	4	4	0	0	8	8	100%	
7 人権・同和教育 自分を大切にするとともに、周りの子ども大切にすることを育てることができているか。 (目標値)アンケート90%	A	◇全体的には、肯定割合は高いが、児童の「自分にはよいところがあると思う」の項目で2の評価を付けている児童が3名いた。学校生活の様々な場面で一人一人の児童の良さを見つけ、掲示するなどの活動を行っているが、他の手立ても考えていきたい。 ◆小さなことを見逃さず、児童の変容を教職員で共有し、児童の頑張りや褒めたり認めたりすることで、自尊感情を育てるようにする。また、普段の学校生活の中でも指導と称賛のバランスを考えながら対応していく。	児童アンケート⑧	12	6	0	0	18	18	100%	94%	
			児童アンケート⑨	11	4	3	0	18	15	83%		
			保護者アンケート⑤	9	7	1	0	17	16	94%		
			教職員アンケート⑳	4	5	0	0	9	9	100%		
			教職員アンケート㉑	5	4	0	0	9	9	100%		
学校運営協議会での話し合い		○学校による取組はとても良いと思う。自己肯定感が高い人はどんな困難にもポジティブに立ち向かっていける。子どもたちには、何よりも自己肯定感を高く持ってほしいと思う。 ○ICTを取り入れた授業は少人数のため、より効果的に指導ができています。 ○人権・同和教育については学校生活の中で様々な研修を行い、効果的に取り組んでいる。 ○学習支援については、個々の能力に応じて良い点を見出し、伸ばしてほしい。										

※教職員アンケート人数の合計が項目によって違うのは、職務(教職員)によって回答する設問が違ったり、未記入の回答数があったりするためです。地域アンケートも未記入の回答数があります。

# 令和3年度 教育計画

愛南町立長月小学校

校 長 氏 名	若松 隆仁	児 童 生徒数	18	学級数	4 (1)	教職員数	男 3 計 7 女 4
------------	-------	------------	----	-----	----------	------	-------------------

教 育 目 標 ・ 基 本 方 針	<p><b>【教育目標】</b>  <b>「 幸せへの道を進む ～ 希望を語る学校を ～ 」</b></p> <p style="text-align: center;">&lt;校訓&gt;                      &lt;目指す児童像&gt;</p> <p style="padding-left: 20px;"> <b>正直</b> …… 自分を見つめる子  <b>親切</b> …… 相手の気持ちを考える子  <b>勇敢</b> …… 正しいと思うことを行う子         </p> <p style="text-align: center;">&lt;目指す教師像&gt;</p> <p style="padding-left: 20px;">           1 教育への情熱を持ち、自分自身の心を磨く人間的魅力のある教職員            2 教育公務員としての自覚と責任を持ち、職責に真摯に向き合う教職員            3 自己成長を楽しみ、新しいことに意欲的に挑戦する教職員         </p> <p><b>【基本方針】</b>  <b>「 挑む その先を見に行こう 」</b></p> <p>一歩を踏み出す、挑戦することを大切にされた教育を推進し、幸せを感じる学校を創る。</p> <p style="padding-left: 20px;">           1 主体的に考え、主体的に動くことを大切にする。            2 お互いのつながりや協働の姿勢を大切に、認め合う集団を創る。            3 子どもを中心に据え、子どもの幸せを考える教育実践を重ねる。         </p>
---	---

経 営 の 重 点 と 努 力 事 項	<p><b>【経営の重点】</b></p> <p>教育目標・ビジョンを共有し、よりよい教育を通して、よりよい社会を創ることを意識した教育活動を推進する。</p> <p style="padding-left: 20px;">           1 安全・安心で充実した教育活動を実践するために、何が必要かを考え続ける。            2 自己成長を楽しみながら、ICTをはじめ、新たなことに挑戦し、授業改善を続ける意欲を持つ。            3 基礎的・基本的事項の確実な定着を図りながら、自ら考え、課題を捉え、解決する力の向上を図る。         </p> <p><b>【努力事項】</b></p> <p><b>1 特色ある学校づくり</b></p> <p style="padding-left: 20px;">           (1) 地域の人々や保護者との関わりを生かした教育活動を展開するとともに、家庭・地域との連携を密にした心身ともに健全な児童の育成を図る。            (2) 学習指導要領の趣旨を理解し、児童や地域の実態及び教職員の創意を生かした「次世代を生き抜く力」を育む教育課程の編成・実施・評価に努める。         </p> <p><b>2 現職教育</b></p> <p style="padding-left: 20px;">           (1) 自己のキャリアステージを意識し、資質・能力(人間力、実践的指導力、組織力、信頼構築力)の充実・発展を目指した専門的、実践的研修の充実を図る。            (2) 主体的に学校経営に参画する意識の高揚と、人間的な力量を高めるために、研究及び修養を推進する。         </p> <p><b>3 教科指導</b></p> <p style="padding-left: 20px;">           (1) ICTの活用を前提とし、改善を意識した授業で、基礎・基本の定着を図る。            (2) 主体的、対話的で深い学びを目指し、自ら学び自ら考える力の育成に努める。            (3) 確かな読解力と豊かな表現力の育成を重視した学習指導の充実を図る。         </p>
--	--

<p>経 営 の 重 点 と 努 力 事 項</p>	<p><b>4 道徳教育</b></p> <p>(1) 自己の生き方についての考えや人間としての生き方の自覚を深めることのできる道徳科の授業実践に努める。</p> <p>(2) 考え、議論する道徳科の工夫、充実に努め、児童の道徳性を育成する。</p> <p>(3) 体験活動のねらいを意識し、規範意識を高めるとともに児童のよさや可能性を伸ばしていく心の教育を推進する。</p> <p><b>5 生徒指導</b></p> <p>(1) 安全、安心な教育環境を整備するとともに、各々の居場所があり、認められる場のある学校を創る。</p> <p>(2) 認め合い、支え合う仲間づくりや学級づくり、学校づくりにより、いじめ・不登校・非行等を防止する。</p> <p>(3) 家庭や地域社会、関係諸機関との連携を密にし、児童の健全育成を推進する。</p> <p><b>6 特別支援教育</b></p> <p>(1) 児童の発達課題や学習上の困難等の実態把握に努め、保護者及び関係機関からの情報をもとに必要に応じて個別の指導計画等を作成し、適切な指導と支援の充実に努める。</p> <p>(2) 全教職員で教育的支援についての共通理解と指導の充実に努める。</p> <p><b>7 人権・同和教育</b></p> <p>(1) 教職員自らが、わがこととして考え、人権意識の高揚を目指す研修の充実に努めるとともに、自己研鑽に励み、人権感覚を磨く。</p> <p>(2) 「自分を大切にするとともに周りの人を大切に」児童の育成に努める。</p> <p><b>8 健康安全教育</b></p> <p>(1) 危機管理意識を持って、自らを守る指導の徹底を図り、「自分の命は自分で守る」児童を育成する。</p> <p>(2) 自己管理能力を高めることを目指した指導に努める。</p> <p><b>9 家庭・地域との連携</b></p> <p>(1) P T A、地域住民、地区公民館等との連携を図りつつ、コミュニティ・スクールとしての創意や工夫を生かした特色ある「地域に開かれた学校」づくりを進める。</p> <p>(2) 地域社会との関わりを大切に学習を推進し、体験活動を進める中で、郷土を愛する心や感謝する心の育成に努める。</p>
<p>管 理 運 営</p>	<p><b>1 人的管理</b></p> <p>(1) 教職員の信頼関係を基盤に、温もりの中にも厳しさのある職場で、共に学び合い、磨き合い、高め合う集団を目指す。</p> <p>(2) 服務規律の遵守、危機管理意識の徹底、健康管理の推進を図る。</p> <p>(3) 業務の軽重を意識するとともに、「改善すべきもの」「しなくてもよいもの」等を精選する中で、業務改善を進める。</p> <p><b>2 物的管理</b></p> <p>(1) 施設・設備・備品の点検、整備とその活用並びに潜在的危険箇所の早期発見とその対策に万全を期する。</p> <p>(2) 教材・教具の効果的な活用と、適切な管理・購入に努める。</p> <p><b>3 事務管理</b></p> <p>(1) 平城共同学校事務室との連携を図り、迅速で正確な事務処理と校務支援システムを活用した業務の効率化に努める。</p> <p>(2) 情報の厳正な管理及び情報公開に対応した適切な処理・管理に努める。</p>



学校教育目標

幸せへの道を進む  
～ 希望を語る学校を ～

校訓

正直  
親切  
勇敢

目指す児童像

自分を見つめる子  
相手の気持ちを考える子  
正しいと思うことを行う子

目指す教師像

教育への情熱を持ち、  
自身を磨く心を持つ  
人間的魅力のある教職員

教育公務員としての  
自覚と責任を持ち、  
職責に真摯に向き合う教職員

自己成長を楽しみ、  
新しいことに意欲的に  
挑戦する教職員

ビジョンの共有

令和3年度スローガン

挑む その先を見に行こう

安全・安心な学校

居場所がある  
認められる場がある

挑戦する学校

自己成長を楽しむ  
変革への意欲を持つ

学力の向上

ICTの活用  
主体的、対話的で  
深い学び

協力・協働

支援・協働

コミュニティ・スクール

やすらぎと  
安心のある  
家庭

連携

子どもたちを  
見守り育てる  
地域

## 令和3年度(12月) 学校評価 児童用

		4	3	2	1
1	がっこう たの 学校は楽しい。(がっこう き とも いっしょ べんきょう あそ たの 学校に来て、友達と一緒に勉強したり遊んだりすることは楽しい。)	15	3	0	0
2	あか こえ へんじ 明るい声で返事やあいさつができています。	8	9	1	0
3	じぶん きも かんが 自分の気持ちをよく考えている。	10	7	1	0
4	あいて きも かんが こうどう 相手の気持ちを考えて行動している。	12	6	0	0
5	かんが ただ どうしたらよいかをよく考え、正しいことをしようとしている。	11	7	0	0
6	じぶん もくひょう き づよ どりよく 自分で目標を決め、あきらめずにねばり強く努力している。	11	6	1	0
7	まいにちいえ べんきょう しゅうかん み つ 毎日家で勉強する習慣が身に付いている。	13	5	0	0
8	ともだち ことば 友達に、やさしい言葉かけをしている。	12	6	0	0
9	じぶん おも 自分には、よいところがあると思う。	11	4	3	0
10	はやね はやお あさ 「早寝・早起き・朝ごはん」ができています。	11	5	2	0
11	じぶん いのち じぶん まも かんが こうどう 自分の命は自分で守るように考えて行動している。	14	4	0	0
12	じゅぎょう わ 授業はよく分かる。	13	5	0	0
13	つか がくしゅう たの コンピュータなどを使った学習は楽しい。	15	3	0	0
14	いえ hito sensei き やくそく じかん まも インターネットやゲームは、家の人や先生と決めた約束や時間を守ってしている。	13	3	2	0
15	sensei じぶん はなし き 先生は、自分の話をよく聞いてくれる。	17	1	0	0

**【長月小学校をよくするために】**

○自分ができること

みんなに元気の良い挨拶をする。友達と仲良くする。みんなとたくさん遊ぶ。いつも笑顔でいること。先生の手伝い。明るい声であいさつや返事をして、明るくしたい。掃除できれいにする。みんなに優しくする。挨拶を元気にする。草削りをする。喧嘩があったら止めたい。全校会議などで自分の意見を持ち、発表する。挨拶など。人に優しくする。力仕事。明るい声で、返事や挨拶をすること。大きな声であいさつや返事をする。自分の意見をはっきり伝える。

○みんなで力を合わせてしたいこと

きれいに掃除をする。友達と仲良くする。②楽しい集会。学習発表会で歌う歌。(気球に乗ってどこまでも)掃除を仲良くする。畑や田植えなどの行事、防災訓練。みんなで楽しめるようにしたい。みんな片付け合う。気付いたら行動をする。行事をみんなでがんばる。全校遊びを増やしたい。喧嘩のない、安全で楽しい学校にしたい。②避難訓練。全校で授業(総合的な学習だけでなく国語・算数など)。パソコンやプログラミングを使って動画やドローンを飛ばしてみたい。できないところを協力する。学習発表会。相手の気持ちを考えて行動すること。偏見などない、内面で人の良さを分かり合える学校にしたい。

令和3年度(12月) 学校評価 児童用

		%			
		4	3	2	1
1	がっこう たの 学校は楽しい。 (がっこう きて とも いっしょ べんきょう あそ たの 学校に来て、友達と一緒に勉強したり遊んだりすることは楽しい。)	83.3	16.7	0.0	0.0
2	あか こえ へんじ 明るい声で返事やあいさつができています。	44.4	50.0	5.6	0.0
3	じぶん きも かんが 自分の気持ちをよく考えている。	55.6	38.9	5.6	0.0
4	あいて きも かんが こうどう 相手の気持ちを考えて行動している。	66.7	33.3	0.0	0.0
5	かんが ただ どうしたらよいかをよく考え、正しいことをしようとしている。	61.1	38.9	0.0	0.0
6	じぶん もくひょう き づよ どりよく 自分で目標を決め、あきらめずにねばり強く努力している。	61.1	33.3	5.6	0.0
7	まいにちいえ べんきょう しゅうかん み つ 毎日家で勉強する習慣が身に付いている。	72.2	27.8	0.0	0.0
8	ともだち ことば 友達に、やさしい言葉かけをしている。	66.7	33.3	0.0	0.0
9	じぶん おも 自分には、よいところがあると思う。	61.1	22.2	16.7	0.0
10	はやね はやお あさ 「早寝・早起き・朝ごはん」ができています。	61.1	27.8	11.1	0.0
11	じぶん いのち じぶん まも かんが こうどう 自分の命は自分で守るように考えて行動している。	77.8	22.2	0.0	0.0
12	じゆぎょう わ 授業はよく分かる。	72.2	27.8	0.0	0.0
13	つか がくしゅう たの コンピュータなどを使った学習は楽しい。	83.3	16.7	0.0	0.0
14	いえ ひと せんせい き やくそく じかん まも インターネットやゲームは、家の人や先生と決めた約束や時間を守っている。	72.2	16.7	11.1	0.0
15	せんせい じぶん はなし き 先生は、自分の話をよく聞いてくれる。	94.4	5.6	0.0	0.0

【記入上の注意】すべての項目の番号に○を付けてください。  
 4… そう思う、よく当てはまる。 3… どちらかと言えばそう思う。  
 2… あまり思わない。 1… 全く思わない。

番	質 問 項 目	4	3	2	1
1	お子さんは、学校に来て、友達と一緒に勉強したり、遊んだりすることを楽しんでいる。	13	4	0	0
2	お子さんは、授業が分かりやすいと感じている。	11	5	1	0
3	お子さんは、気持ちの良い声で返事やあいさつができています。	10	7	0	0
4	お子さんは、自分自身を見つめ、前向きに生活できている。	10	7	0	0
5	お子さんは、相手の気持ちを考えることができています。	9	7	1	0
6	お子さんは、自分が正しいと思うことをしようとしている。	9	7	1	0
7	お子さんは、自分でがんばろうと思うことを決め、努力している。	9	7	1	0
8	学校や地域でのいろいろな体験活動により、お子さんの心は育っている。	11	6	0	0
9	お子さんは、家庭で学習をする習慣が身に付いている。(宿題を含む)	9	5	3	0
10	お子さんは、身の回りの危険に気付き、自分の命を自分で守る意識が育ってきている。	8	7	2	0
11	お子さんは「早寝・早起き・朝ごはん」ができています。 (早寝は、低学年21:00、中学年21:30、高学年22:00としています。また、早起きは、6:30としています。)	9	6	2	0
12	家庭では、お子さんと、ゲームや携帯電話、インターネットなどの使用にルールを決めて制限をしている。また、それを守らせている。	9	5	3	0
13	私(保護者)は、学校と目標を共有し、連携して子どもをよりよく育てようとしている。	9	8	0	0
14	私(保護者)は、学校やPTAの様々な取組に、積極的に協力している。	8	7	2	0
15	学校は、新たなことに積極的に挑戦し、新しい学校づくりに努めている。	10	4	3	0
16	保護者から学校へ、気軽に相談できる雰囲気がある。	10	7	0	0

※上記の項目についての御意見や、学校に対しての御意見・御要望等を御自由にお書きください。また、お子様への指導の在り方について、何かお気づきの点などありましたらお書きください。

苦手な教科について本人がやる気になったり、苦手意識をなくす指導が結果に表れて嬉しいです。それだけ先生が我が子の性格やクラスの子などの特性を理解してくれているからだと感じています。

令和3年度(12月) 学校評価 保護者用

長月小学校

【記入上の注意】すべての項目の番号に○を付けてください。  
 4… そう思う、よく当てはまる。 3… どちらかと言えばそう思う。  
 2… あまり思わない。 1… 全く思わない。

%

番	質 問 項 目	4	3	2	1
1	お子さんは、学校に来て、友達と一緒に勉強したり、遊んだりすることを楽しんでいる。	76.5	23.5	0.0	0.0
2	お子さんは、授業が分かりやすいと感じている。	64.7	29.4	5.9	0.0
3	お子さんは、気持ちの良い声で返事やあいさつができています。	58.8	41.2	0.0	0.0
4	お子さんは、自分自身を見つめ、前向きに生活できている。	58.8	41.2	0.0	0.0
5	お子さんは、相手の気持ちを考えることができています。	52.9	41.2	5.9	0.0
6	お子さんは、自分が正しいと思うことをしようとしている。	52.9	41.2	5.9	0.0
7	お子さんは、自分でがんばろうと思うことを決め、努力している。	52.9	41.2	5.9	0.0
8	学校や地域でのいろいろな体験活動により、お子さんの心は育っている。	64.7	35.3	0.0	0.0
9	お子さんは、家庭で学習をする習慣が身に付いている。(宿題を含む)	52.9	29.4	17.6	0.0
10	お子さんは、身の回りの危険に気付き、自分の命を自分で守る意識が育ってきている。	47.1	41.2	11.8	0.0
11	お子さんは「早寝・早起き・朝ごはん」ができています。 (早寝は、低学年21:00、中学年21:30、高学年22:00としています。また、早起きは、6:30としています。)	52.9	35.3	11.8	0.0
12	家庭では、お子さんと、ゲームや携帯電話、インターネットなどの使用にルールを決めて制限をしている。また、それを守らせている。	52.9	29.4	17.6	0.0
13	私(保護者)は、学校と目標を共有し、連携して子どもをよりよく育てようとしている。	52.9	47.1	0.0	0.0
14	私(保護者)は、学校やPTAの様々な取組に、積極的に協力している。	47.1	41.2	11.8	0.0
15	学校は、新たなことに積極的に挑戦し、新しい学校づくりに努めている。	58.8	23.5	17.6	0.0
16	保護者から学校へ、気軽に相談できる雰囲気がある。	58.8	41.2	0.0	0.0



令和3年度(12月) 学校評価 地域用

		4	3	2	1
1	学校は、コミュニティ・スクールとして地域とともにある学校への歩みを進めている。	9	5	1	0
2	児童は、気持ちの良い返事やあいさつができています。	9	6	0	0
3	参観日や校外等での児童の様子から考えて、学校は「正直」で「親切」で「勇敢」な児童の育成に努めている。	7	8	0	0
4	参観日や学校だより、ホームページの様子や地域での児童の様子などから判断して、「正直」で「親切」で「勇敢」な児童が育っている。	10	5	0	0
5	学校は、一人一人の児童や保護者、地域の方との対応を丁寧に行っている。	10	4	1	0
6	学校便りや、ホームページなどによって、学校の様子がよく分かる。	9	5	0	0
7	学校や職員には気軽に声を掛けたり、立ち寄りたりすることのできる雰囲気がある。	8	5	2	0
<p>○新型コロナの関係で、先生方もいろいろと大変ではないかと思いますが児童たちが明るく伸び伸びと成長しますように御尽力をお願いいたします。</p> <p>○小さな学校(少人数)であり、一人一人にきめ細かい教育、学習ができる反面、競争意識が薄れ仲良しグループになりかねない心配もあるが、大きな学校との交流等を図って共に向上してほしい。</p> <p>○小規模校は、地域との連携がより密に行える良さがあるので、現状人数の確保ができればなるべく統合はしない方がよいのでは。</p> <p>○コロナの関係もあるでしょうが、諸行事も少なくなり子どもたちと直接会う機会が次第に減ってきて寂しく感じます。時に訪問するときの諸先生方の対応…等評価は④です。</p> <p>○学校統合により、長月小学校がなくなるのは大変残念です。いつまでも児童の思い出になるような残りの学校生活を送ってほしいと思います。</p> <p>○新型コロナが終息し、少しでも早い日常が戻ることを祈っております。</p> <p>○今後の学校の統合関係が気になります。できるだけ情報提供をお願いします。</p> <p>○長月塾では保護者が大変協力的です。子どもたちも素直でよく頑張っています。</p>					

令和3年度(12月) 学校評価 地域用

		%			
		4	3	2	1
1	学校は、コミュニティ・スクールとして地域とともにある学校への歩みを進めている。	60.0	33.3	6.7	0.0
2	児童は、気持ちの良い返事やあいさつができています。	60.0	40.0	0.0	0.0
3	参観日や校外等での児童の様子から考えて、 <u>学校は「正直」で「親切」で「勇敢」な児童の育成に努めている。</u>	46.7	53.3	0.0	0.0
4	参観日や学校だより、ホームページの様子や地域での児童の様子などから判断して、「正直」で「親切」で「勇敢」な <u>児童が育っている。</u>	66.7	33.3	0.0	0.0
5	学校は、一人一人の児童や保護者、地域の方との対応を丁寧に行っている。	66.7	26.7	6.7	0.0
6	学校便りや、ホームページなどによって、学校の様子がよく分かる。	64.3	35.7	0.0	0.0
7	学校や職員には気軽に声を掛けたり、立ち寄ったりすることのできる雰囲気がある。	53.3	33.3	13.3	0.0

# 長月小 学校評価 教職員用 [氏名: 集計 ]R03・学年末

○ 記入にあたって  
 (4=あてはまる 3=おおむねあてはまる 2=どちらかといえばあてはまらない 1=あてはまらない)  
 2・1の評価を付ける場合は、その理由や改善策等を記述欄に必ず記入してください。4・3の評価を付けた場合も、記述欄に記入していただいて結構です。積極的な御意見をお願いします。  
 その他、意見・提言を御記入ください。※職によっては、記入できる欄のみ回答ください。

※ 裏面もあります。御注意ください。

観点	評価指標	4	3	2	1				
校特 づ色 ある 学	1	保護者、地域住民等との積極的なかかわりを通じて、連携して教育を進めているとしている。				6	2	0	0
	2	児童や地域の実態及び教職員の創意を生かした「次世代を生き抜く力」を育む教育を進めることができた。				4	4	0	0
記述欄	○運動会、音楽発表会、マラソン大会等、子どもたちの頑張りを保護者の方に見ていただく機会が多かったため良かった。 ○地域探検に出かけ、地域の自然に触れることができた。 ○参観日では保護者や地域の方を巻き込んだ授業を行い、交流する場を持った。 ○2組保護者とは、計画帳、電話連絡などで情報交換を行った。いくつか行事もあったので、全校保護者と顔を合わせて子どもたちの様子を伝えることもできた。見守り隊の方々をはじめ、地域の方々への挨拶や感謝の気持ちを伝えることをこれからも継続していきたい。								
現職 教育	3	研修や自己研鑽に努めている。 (※ 愛南町統一質問に変更しています)				5	3	0	0
	4	自己のキャリアステージを意識し、資質・能力を向上させる研究と修養に積極的に努めている。				6	3	0	0
	5	教育計画やグランドデザインとのつながりを考えながら、自分の仕事に取り組み、学校経営に積極的・意欲的に参画することができた。				6	3	0	0
	6	職員間に必要な情報の共有があり、お互いに言うべきことを言うことができている。				4	5	0	0
	7	教師集団に助け合おうという雰囲気があり、一丸で進もう、チームで解決していこう、全体でよくなっていこうとする集団になっている。				6	3	0	0
記述欄	○2学期はいろいろな先生方に研究授業をしていただき、対話的な学びについて深く考えることができた。 ○2学期は研究会参加、研究授業、読書など自分の研修に時間を当て取り組んだ。長月小教師集団の雰囲気はよく、励まし合ったり支え合ったりできていると感じる。ただ、私自身が他の先生方へのサポートが充分でないと思うので、声を掛けて自分にできることをやっていきたい。								
教科 指導	8	ICTを活用し、授業改善を意識して取り組んだ。				6	1	0	0
	9	主体的、対話的で深い学びを目指し、自ら学び自ら考える力を伸ばすことができた。				2	4	0	0
	10	確かな読解力と豊かな表現力を伸ばすことができた。				1	4	0	0
	11	家庭学習の習慣が身に付くように指導できた。				1	5	0	0
	12	少人数指導や複式学習の短所を補い長所を生かす学習指導の充実に努めた。				2	4	0	0
記述欄	○どの学級もICTを積極的に活用した授業が行われていると思う。また、複式なので異学年の発表や考えを聞く活動を取り入れた授業ができた。 ○少人数の良さを活かし、個の苦手な所を把握し、苦手が克服できるように取り組んだ。 ○ICTの活用を様々な場面で取り入れることにより、児童がスムーズに使えるようになってきた。 ○今学期は、研究授業を含め単元を見直したうえで1時間ごとの指導に力を入れた。2組児童の「できない」「分からない」とすぐあきらめていた点を改善することはできた。3学期もICTの活用を含めた授業改善を継続していく。								

観点	評価指標			4	3	2	1
道徳教育	13	自己の生き方についての考えや人間としての生き方の自覚を深めることのできる道徳科の授業実践に努めている。	1	3	0	0	
	14	考え、議論する道徳科の充実に努め、児童の道徳性を育成するよう努力している。	1	3	0	0	
	15	規範意識を高める活動を推進するとともに、子どもの良さや可能性を伸ばしていく心の教育を推進している。	3	4	0	0	
記述欄	<p>○ICTを用いてお互いの考えを見ながら発表できるようにした。友達の見聞から自分の考えを深める様子が見られた。</p> <p>○道徳の授業では、しっかり考え発表できるようになってきた。また、道徳の授業で学んだことを学校生活の場でも生かそうとする姿が見られた。</p> <p>○夏季休業中や2学期の研修会への参加、オンライン研修、文献による研修などで道徳の授業についての研修ができた。授業のあり方を見直すことを試みたが、まだ不十分なことも多いので、今後も改善目指してやっていきたい。</p>						
導生徒指	16	安全、安心な教育環境を整備するとともに、各々の居場所があり、認められる場のある学校づくりに努めている。	2	6	0	0	
	17	認め合い、支え合う仲間づくりに努め、いじめ・不登校・非行等を防止するよう日々努めている。	5	3	0	0	
記述欄	<p>○なかよしアンケート等で毎月嫌なことをされたという報告がある。全くなくすることは無理かもしれないが、全校体制で児童の様子を見守り、気付いた時に指導できるようにしたい。</p> <p>○学級が心のよりどころとなるように、児童の話はしっかり聞き、いつも笑顔でいるよう心掛けた。</p> <p>○子どもたちは、良さを認め合ったり励まし支え合ったりしていると思う。私も子どもたちの良さを見つけ、その場その場で直接伝え続けていきたい。誰もが安心して過ごすことができるよう日々のちょっとした変化を見逃さず、子どもたちの表情、様子にも敏感でありたい。</p>						
育特別支援教	18	一人一人の発達課題や学習上の困難等の把握に努め、必要に応じて個別の児童計画等を作成し、適切な指導と支援の充実に努めている。	4	3	1	0	
	19	児童一人一人の実態把握に努め、教育的支援についての共通理解と指導の充実に努めている。	4	4	0	0	
記述欄	<p>○教室を抜け、授業がしっかり受けられていない児童への手立てができていない。日々どうすればよいか悩んでいる。</p> <p>○一人一人の児童の良い所を見つけるように努力した。</p> <p>○個々の実態で集団生活をする上で気になることは多々ある。生徒指導と特別支援とのバランスを考えながらの指導が難しい。</p> <p>○学級の児童に対しては、実態や特性に合わせてその都度手立てを変えながら対応にあたっている。全校児童の中には配慮の必要な児童に対しては特支コーディネーターとして働きが十分でないで申し訳なく思っている。相談に乗っていただきながら、より良い方向へ進めるよう考えていきたい。</p>						
和人教育・同	20	私は、わがこととして考え、人権意識を高めようとする取組を行っている。	4	5	0	0	
	21	「自分を大切にするとともに友達を大切に」児童の育成に努めている。	5	4	0	0	
記述欄	<p>○自己肯定感を高めるための授業を積極的に行った。自分を大切にすることが育ったように思う。</p> <p>○相手の気持ちを考えて発言したり、行動したりするように常に声を掛けた。自分のことを大切にするために、自尊感情を高める声掛けをした。</p> <p>○人権・同和教育に関する研修は、書籍や新聞記事、小冊子を読むことが中心で差別が直接見える聞こえるところへ自ら出向いて学ぶことはできなかった。そんな中でも、常に自分の発する言葉は選りながら表に出すように心がけ、発した後も見つけ直すようにしている。差別を受ける方々の苦しみや悲しさ、怒りに心を寄せ自分の差別心と向き合い、自分の問題として考え続けたい。</p>						

観点	評価指標		4	3	2	1
全健 教育 健康 安	22	児童の「自分の命は自分で守る」意識を高め、判断力と行動力を身に付けさせる防災教育を実践している。	8	0	0	0
	23	児童自身が健康への意識を高め、ねばり強くやり抜く気力と体力を育成するように努めている。	6	2	0	0
記述欄	<p>○避難訓練で落ち着いた行動が見られるようになってきていると思う。</p> <p>○避難訓練の反省をしっかりと行い、問題点を見つけ次に生かせるよう話し合った。</p> <p>○避難訓練(不審者対応)によって、形だけではなくどう対応すべきかを本気で考えることができた。日々、いろいろなパターンで児童に「こんなときどうするか」と投げかけ対応策と一緒に考えておく必要がある。週2回の朝マラソンは粘り抜く力や体力、気力を付けることにつながっていると思う。</p>					
と家 の庭 連携 ・地 域	24	学校運営、学級経営その他に関する情報の積極的な発信・受信と教育活動の公開に努めた。(HPの発信、学級通信の発行、保護者との連絡等)	3	5	0	0
	25	コミュニティ・スクールとして「地域とともにある学校」づくりを常に意識し、体験活動や家庭・地域と連携した教育活動を工夫するように努めた。	3	5	0	0
記述欄	<p>○時々ホームページを発信することができた。</p> <p>○ホームページ発信や学級通信の発行を月に1回以上は行えるように努力した。</p> <p>○もっと学校のHPを活用して情報発信ができればよかった。</p> <p>自分の立場で家庭や地域と連携しながら行う教育活動をもっと積極的に行っていきたい。</p> <p>○3・4年生の活動の様子を中心にHPで発信することに努めた。自分の担当する教科の学習や他の活動についての発信もできればと思う。</p>					
記述欄	<p>その他 全体を通して、改善策をお書きください。</p> <p>○月、水、金の朝ボランティアの活動を子どもたちはよく頑張っていると思う。ただ、火、木の朝マラソンも含めると毎朝何らかの活動がある。朝ボラは毎回一緒に出ている私としては、あわただしい感じがしている。例えば週1回(週初めの月曜日(読み聞かせがある日)、週真ん中の水曜日)は教室でゆったり過ごす朝にしてもいいとも思う。</p>					